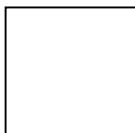


2010年3月期第2四半期決算説明会



2009年11月20日

日本電設工業株式会社

I. 会社概要	… 2
II. 2010年3月期第2四半期決算概要	… 5
III. 2010年3月期決算見通し	… 12
IV. 部門別各種施策	… 15
V. 日本電設3ヶ年経営計画2009	… 28

◆NDKグループ（子会社 15社、関連会社 4社で構成）

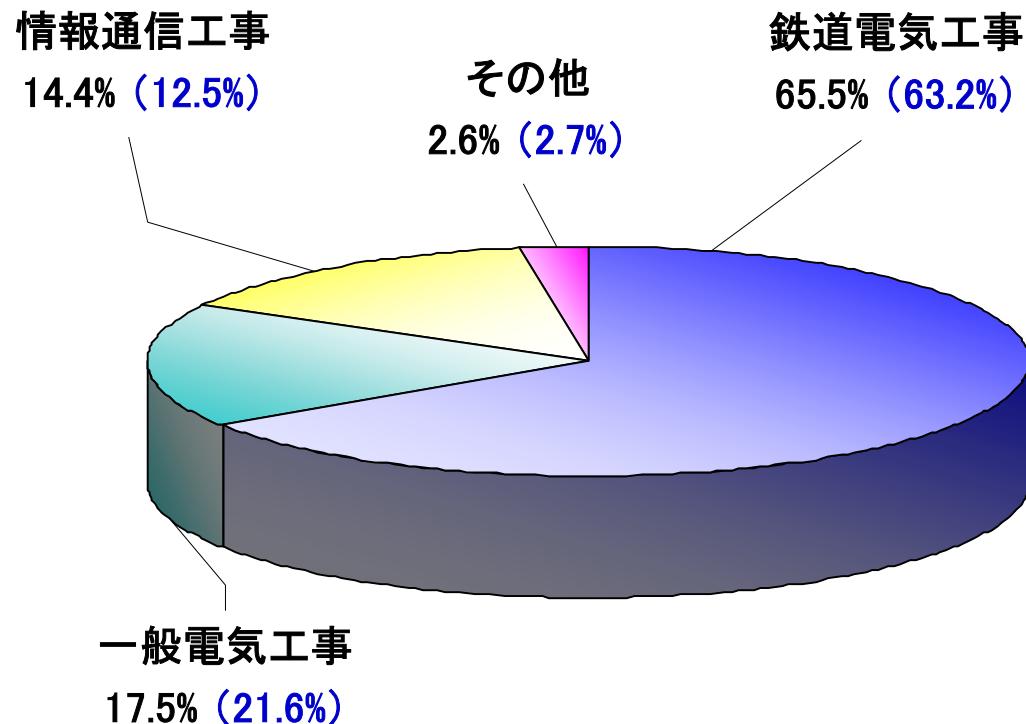
連結子会社 3社

会 社 名	主 な 事 業 内 容
東日本電気エンジニアリング(株)	鉄道電気・通信・消防設備に関する調査、設計、施工、企画、監理、保守
NDK総合サービス(株) ➡ 当社関連事業本部と連携	電気機器・材料等の販売および不動産の賃貸、仲介、管理ならびに建築に関する電気工事の施工、企画、監理、保守
NDKイツツ(株)	情報システムに関する企画、開発、運用

◆NDKグループ（子会社 15社、関連会社 4社で構成） 持分法適用会社 10社

会社名	主な事業内容
NDK電設(株)	建築に関する電気工事の施工、企画、監理、保守
NDK設備設計(株)	建築に関する電気設備、通信設備、情報システムの企画、設計、積算、監理
NDKアールアンドイー(株)	電気設備に関する教育・図書出版
日本電設電車線工事(株)	鉄道電車線路に関する電気工事の施工、監理
日本電設電力工事(株)	鉄道電灯電力に関する電気工事の施工、監理
日本電設信号工事(株)	鉄道信号に関する電気工事の施工、監理
日本電設通信工事(株)	鉄道通信に関する電気通信工事の施工、監理
(株)東電	建築に関する電気工事の施工、監理(中国地区)
トキワ電気工業(株)	電気工事、電気通信工事および管工事の施工、企画、監理、保守(九州地区)
(株)新陽社	鉄道電気機器・各種サイン表示システム等の設計、制作、販売、施工

2010年3月期第2四半期売上高構成比率・額(連結)



(単位:百万円)	
鉄道電気工事	26,328
一般電気工事	7,048
情報通信工事	5,773
その他(注)	1,024
合 計	40,174

(注)電気設備の設計、不動産の賃貸・管理
およびソフトウェアの開発等

※()内は2009年3月期第2四半期

連結

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
受注高	78,918	66,634	△15.6
売上高	47,023	40,174	△14.6
下期繰越高	119,658	125,044	4.5
営業利益	1,243 (2.6%)	363 (0.9%)	△70.7
経常利益	1,540 (3.3%)	595 (1.5%)	△61.4
四半期純利益	456	43	△90.4

個別

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
受注高	66,242	53,773	△18.8
売上高	31,691	26,592	△16.1
下期繰越高	111,691	115,702	3.6
営業利益	△511 (△1.6%)	△791 (△3.0%)	△54.6
経常利益	△123 (△0.4%)	△472 (△1.8%)	△283.0
四半期純利益	△95	△243	△155.7

※()内は売上高比率

受注高

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	46,033	41,760	△9.3
一般電気工事	18,281	13,446	△26.4
情報通信工事	13,826	10,762	△22.2
その他	776	664	△14.5
計	78,918	66,634	△15.6

売上高

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	29,699	26,328	△11.4
一般電気工事	10,171	7,048	△30.7
情報通信工事	5,899	5,773	△2.1
その他	1,254	1,024	△18.3
計	47,023	40,174	△14.6

次期繰越高

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	64,735	70,750	9.3
一般電気工事	40,259	40,901	1.6
情報通信工事	14,454	13,154	△9.0
その他	208	236	13.6
計	119,658	125,044	4.5

営業利益

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	1,222 (4.1%)	504 (1.9%)	△58.8
一般電気工事	△251 (△2.5%)	△226 (△3.2%)	10.2
情報通信工事	179 (3.1%)	△3 (△0.1%)	△101.7
その他	93 (7.4%)	89 (8.7%)	△4.4
計	1,243 (2.6%)	363 (0.9%)	△70.7

※()内は売上高比率

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計期間		2010年3月期 第2四半期累計期間	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	47,023	100.0%	40,174	100.0%
売上原価	40,170	85.4%	33,924	84.4%
売上総利益	6,853	14.6%	6,249	15.6%
販管費	5,609	11.9%	5,886	14.7%
営業利益	1,243	2.6%	363	0.9%
営業外収益	437	0.9%	355	0.9%
営業外費用	140	0.3%	123	0.3%
経常利益	1,540	3.3%	595	1.5%
特別利益	83	0.2%	145	0.4%
特別損失	95	0.2%	162	0.4%
税金等調整前四半期純利益	1,527	3.2%	577	1.4%
四半期純利益	456	1.0%	43	0.1%

受注高

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	35,832	31,679	△11.6
一般電気工事	18,633	13,464	△27.7
情報通信工事	11,776	8,629	△26.7
その他	–	–	–
計	66,242	53,773	△18.8

売上高

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	16,740	14,656	△12.4
一般電気工事	10,171	7,065	△30.5
情報通信工事	4,134	4,381	6.0
その他	645	488	△24.3
計	31,691	26,592	△16.1

次期繰越高

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	57,531	62,917	9.4
一般電気工事	40,610	40,901	0.7
情報通信工事	13,549	11,882	△12.3
その他	–	–	–
計	111,691	115,702	3.6

営業利益

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
鉄道電気工事	△314 (△1.9%)	△495 (△3.4%)	△57.8
一般電気工事	△243 (△2.4%)	△238 (△3.4%)	2.4
情報通信工事	18 (0.4%)	△78 (△1.8%)	△529.1
その他	27 (4.3%)	20 (4.3%)	△25.4
計	△511 (△1.6%)	△791 (△3.0%)	△54.6

※()内は売上高比率

(単位:百万円)

	2009年3月期		2010年3月期	
	第2四半期累計期間		第2四半期累計期間	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	31,691	100.0%	26,592	100.0%
売上原価	27,780	87.7%	22,945	86.3%
売上総利益	3,910	12.3%	3,646	13.7%
販管費	4,422	14.0%	4,438	16.7%
営業利益	△511	△1.6%	△791	△3.0%
営業外収益	405	1.3%	319	1.2%
営業外費用	16	0.1%	0	0.0%
経常利益	△123	△0.4%	△472	△1.8%
特別利益	71	0.2%	118	0.4%
特別損失	85	0.3%	10	0.0%
税金等調整前四半期純利益	△137	△0.4%	△364	△1.4%
四半期純利益	△95	△0.3%	△243	△0.9%

III. 2010年3月期決算見通し

受注～利益内訳(連結・個別)



日本電設工業グループ

連結

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期予想	増減率(%)
受注高	166,423	152,700	△8.2
売上高	156,796	154,800	△1.3
次期繰越高	98,123	97,322	△0.8
営業利益	9,029 (5.8%)	8,000 (5.2%)	△11.4
経常利益	9,984 (6.4%)	8,800 (5.7%)	△11.9
当期純利益	5,420	4,600	△15.1

個別

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期予想	増減率(%)
受注高	133,994	121,100	△9.6
売上高	123,859	123,100	△0.6
次期繰越高	88,032	87,328	△0.8
営業利益	5,492 (4.4%)	5,290 (4.3%)	△3.7
経常利益	6,123 (4.9%)	5,780 (4.7%)	△5.6
当期純利益	3,663	3,350	△8.5

※()内は売上高比率

連結

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期	2010年3月期予想	増減率(%)
鉄道電気工事	99,547	91,000	△8.6
一般電気工事	40,500	39,000	△3.7
情報通信工事	24,776	21,400	△13.6
その他	1,599	1,300	△18.7
計	166,423	152,700	△8.2

個別

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期	2010年3月期予想	増減率(%)
鉄道電気工事	72,145	64,500	△10.6
一般電気工事	40,926	39,000	△4.7
情報通信工事	20,922	17,600	△15.9
その他	—	—	—
計	133,994	121,100	△9.6

連結

(単位:百万円)

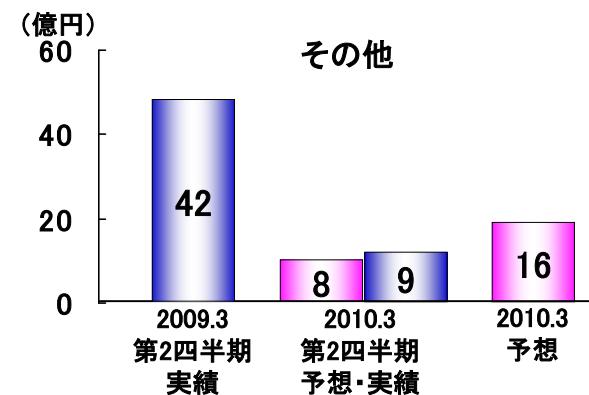
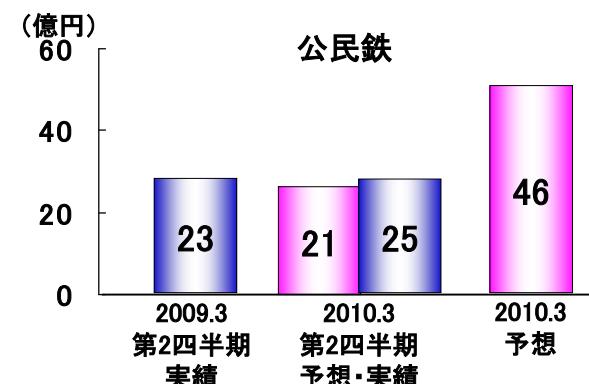
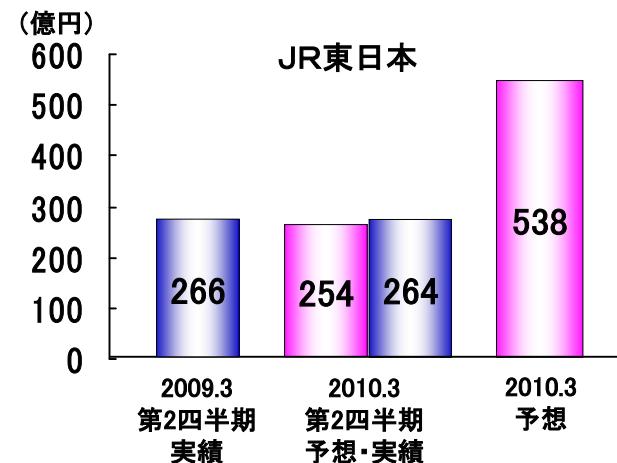
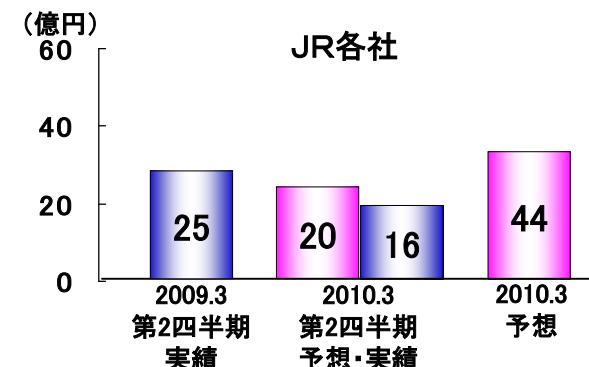
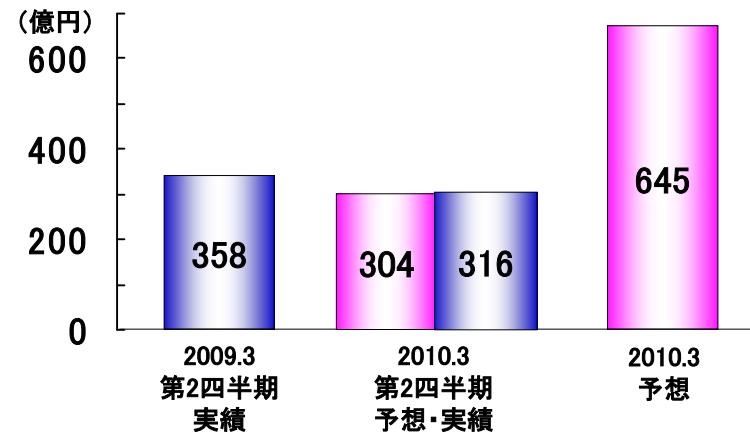
部 門	2009年3月期	2010年3月期予想	増減率(%)
鉄道電気工事	92,629	94,400	1.9
一般電気工事	38,146	35,100	△8.0
情報通信工事	23,138	22,600	△2.3
その他	2,882	2,700	△6.3
計	156,796	154,800	△1.3

個別

(単位:百万円)

部 門	2009年3月期	2010年3月期予想	増減率(%)
鉄道電気工事	64,689	67,900	5.0
一般電気工事	38,573	35,100	△9.0
情報通信工事	19,194	18,800	△2.1
その他	1,402	1,300	△7.3
計	123,859	123,100	△0.6

○当部門の受注実績・予想



○鉄道・運輸機構 整備新幹線プロジェクト

・北陸新幹線プロジェクト 本格始動！

北陸新幹線(長野～金沢)受注に向け営業展開中

既開業の東京～長野を金沢まで延伸

現在土木工事の施工が行われており、今後電気工事の発注が見込まれる

開業予定区間 長野～金沢～白山車両基地間 約240km

開業時期 2015年3月期開業予定



既開業区間(東京～長野)の長野新幹線車両
JR東日本HPより



北陸新幹線ルート図 長野県HPより

・東北・九州新幹線開業に向けて

東北新幹線(八戸～新青森)電気工事完成間近

(現況)施工は9割方終了し、今後順次設備検査等が実施される

施工区間 八戸～新青森間 81.2km

総受注高 6,491百万円

開業時期 2010年12月開業予定

九州新幹線(博多～新八代)電気工事本格着工

(現況)電気工事を本格的に施工中

施工区間 博多～新八代間 130.0km

総受注高 7,826百万円

開業時期 2011年3月期完成予定



山陽・九州新幹線直通用車両
JR九州HPより



東北新幹線新青森変電所設備
2009.3



九州新幹線鳥栖変電所設備
2009.10

○東北・上越新幹線配電・変電機器更新

・老朽化した設備の更新

計画

2007年3月期から2016年3月期にかけて計画的に更新を行う
更新効果

(配電)ボックス式配電盤からスケルトン式配電盤に変更することにより、メンテナンス等の利便性が向上

配電所更新 139箇所

受注実績 8箇所(大宮駅他7箇所) 累計受注高 21.4億円

[配電所内訳] 駅45箇所、車両センター23箇所、
中間配電所31箇所、消雪基地40箇所
非常用発電機32台

(変電)老朽取替による電源の安定、省エネ、CO₂削減

変電機器更新 90箇所

受注実績 23箇所(新古川変電所他22箇所)

累計受注高 38.1億円



ボックス式配電盤



スケルトン式配電盤

○電路設備の簡素・統合化 第5期工事

・工事内容

2009年3月期から10年かけて対象線区約350kmの電路設備の簡素統合化工事を実施

累計受注高 50.4億円

・電路設備の簡素・統合化に 期待される効果

簡素・統合化による安全性の向上・交換部品の削減
鋼管ビームの採用および高圧配電線路のケーブル化
に伴うメンテナンスの省力化や高所作業の削減

・第5期工事の特徴

新たにコンパウンド架線を対象に追加し工事を施工
(第1期工事～第4期工事では、ツインシンプル架線を対象に施工)



簡素統合化架線



施工状況

OJR東日本「安全ビジョン2013」における安全設備の導入推進

・より安全性の高い保安装置の整備

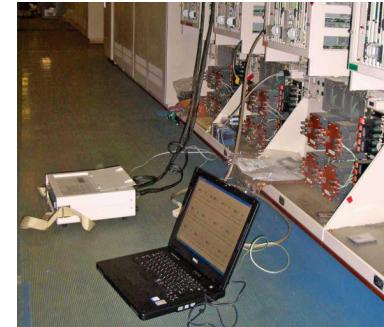
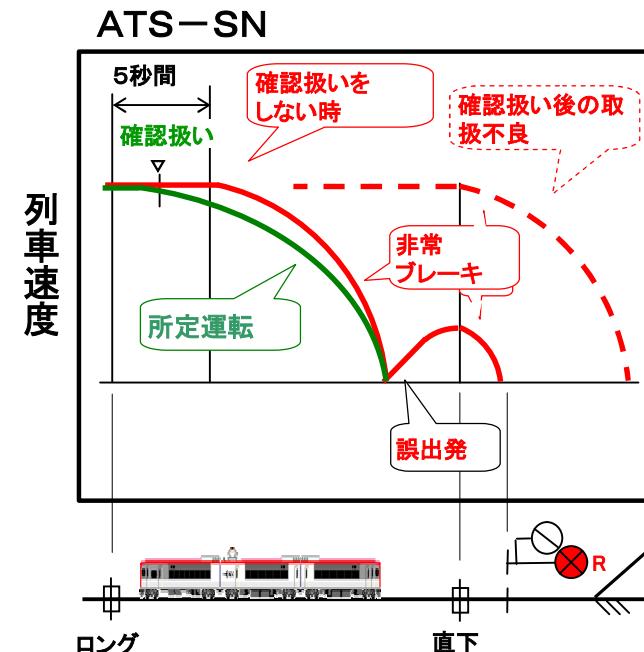
(連続した速度照査機能を持つATS-P等)

計画 2007年3月期から2013年3月期にかけて、
首都圏などの20線区約850kmを整備

契約実績 成田線、根岸線、東北本線の3線区等

(2010年3月期第2四半期受注)

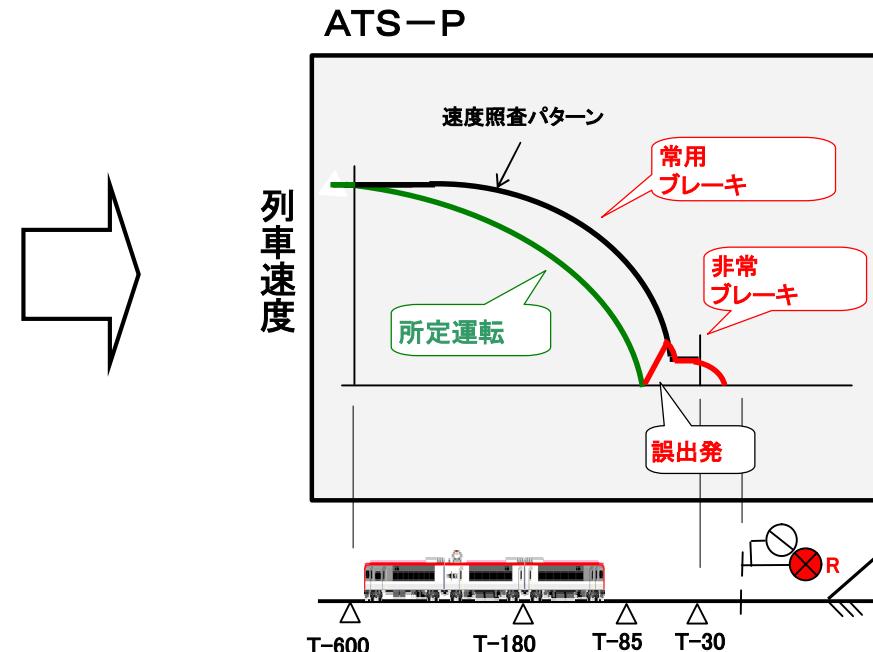
累計受注高 約 61億円



ATS-P処理装置



ATS-P地上子



○浦和駅周辺高架化事業

・計画概要

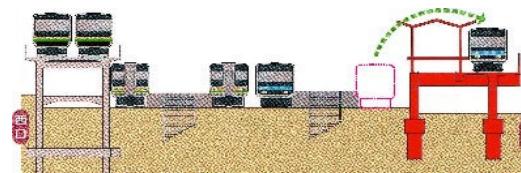
浦和駅付近を走る京浜東北線、宇都宮・高崎線の高架化および東西連絡通路の新設等により、駅東西の市街地一体化を促進する事業

併せて東北貨物線にホームを新設する工事も行われる
完成後は、現在浦和駅通過となっている湘南新宿ラインが停車することとなり、池袋・新宿・横浜方面へのアクセス向上も期待されている

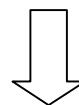
2013年3月期竣工予定 累計受注高 23.4億円



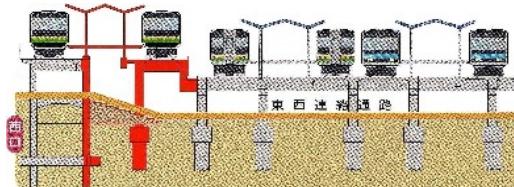
完成イメージ さいたま市HPより



工事第一段階
京浜東北線(南行)高架化 2007.1竣工



京浜東北線(北行)、宇都宮・高崎線ホームを順次高架化



工事最終段階
東北貨物線ホーム新設 2013年春予定

(画像引用 さいたま市HPより)

2010. 3期第2四半期



京浜東北線(北行)線路切換工事における電車線調整作業 2008.5

○JR北海道札沼線電化事業

・計画概要

札幌圏では唯一の非電化区間ながら、都市化の進展で利用者が年々増加しているJR北海道札沼線 桑園～北海道医療大学間28.9kmの電化工事が、2012年春完成を目指し2009年10月着工

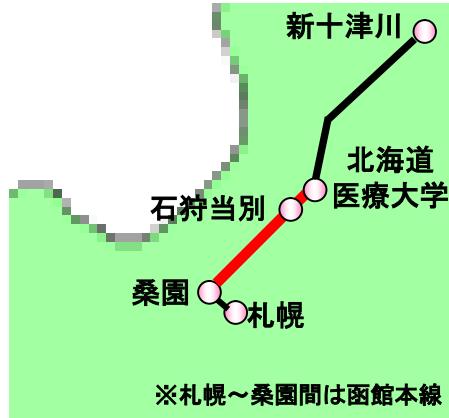
電化による所要時分短縮と混雑緩和、環境負荷低減が期待されている

総事業費は46億円

今後電気工事の発注が予定されており、受注に向けて営業推進中

【札沼線路線図】

赤線が今回電化区間
桑園～新十津川間76.5kmのうち
桑園～北海道医療大学間28.9kmを電化



事業効果

- ・所要時分短縮 46分→39分(▲7分)
(札幌～石狩当別)
- ・混雑緩和 130%→104%(▲26%)
- ・CO₂排出量の削減[t-CO₂/日]
約32→約10(▲22)

(JR北海道プレスリリースより)

○富山都心線環状化事業

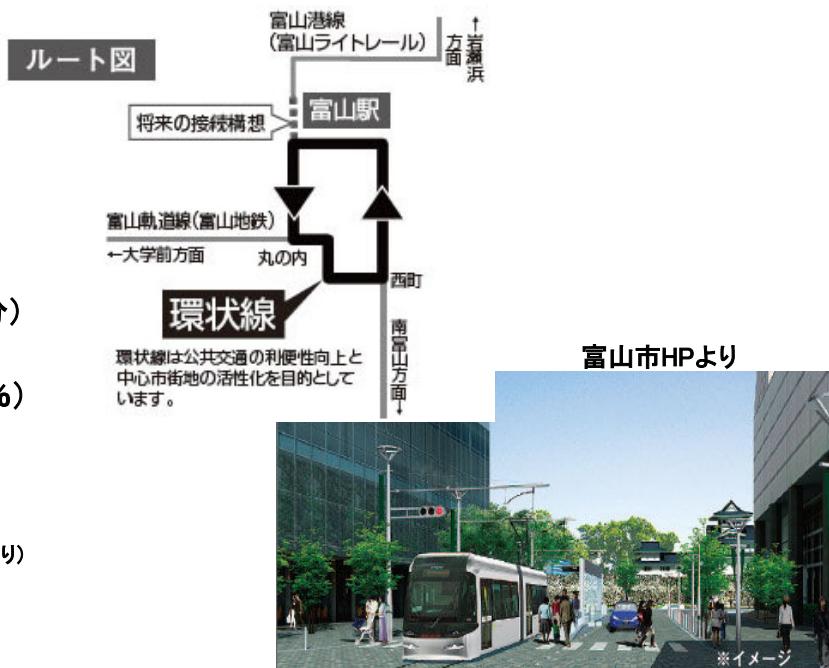
・計画概要

富山市内中心部を走る路面電車の2つの地点(富山地鉄富山軌道線丸の内電停～西町電停間)を約1kmの新線で接続することにより約3.5kmの環状線とする事業

中心市街地の活性化や回遊性向上が期待されている

将来的には富山ライトレールとの直通構想もある

2009年12月開業予定 総受注高 5.4億円



○受注拡大のため組織的営業の強化

・JR各社の主な受注

郡山貨物(タ)駅構内改良工事…JR貨物
総受注高 1.4億円
2009年11月末竣工

姫新線 播磨新宮・上月間電気設備新設工事
総受注高 4.6億円 …JR西日本
2010年1月竣工予定

・施工実績



京成電鉄(株)
日暮里駅総合改善事業
(2010.3 竣工予定)

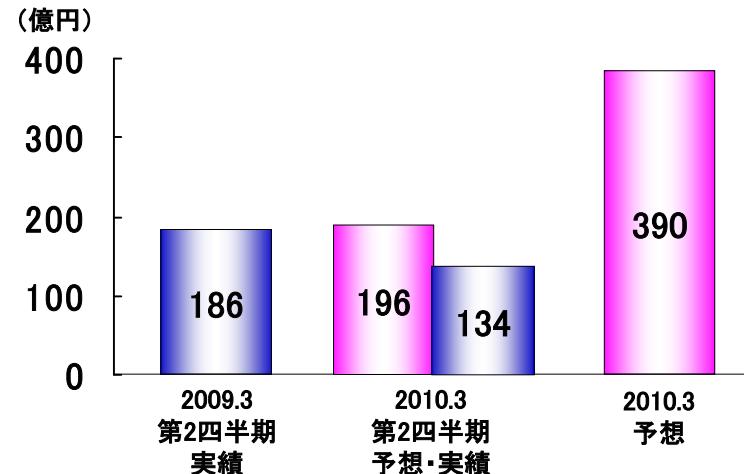


東京モノレール(株)
羽田空港国際線ビル駅設置に伴う設備工事
(2010.6 竣工予定)



北総鉄道(株)
成田新高速鉄道設備改良工事
(2011.3期 開業予定)

○当部門の受注実績



○CO₂削減対策を提案する エコパワー5点セット

- ①高効率機器への更新
(受変電・空調・熱源設備)
- ②空調システムの省エネ方式への変更
- ③運転制御の適正化とシステム変更に伴う
動力設備の変更
- ④高効率光源への変更、点滅方式の変更
- ⑤自然エネルギーの活用



従来の 蛍光灯	高周波点 灯方式の 蛍光灯
消費電力 85W	消費電力 65W
明るさ 4,200 lm	明るさ 4,858 lm

消費電力 ⇌ 消費電力 消費電力
85W ⇌ 65W 54W

明るさ ⇌ 明るさ 明るさ
4,200 lm ⇌ 4,858 lm 4,789 lm



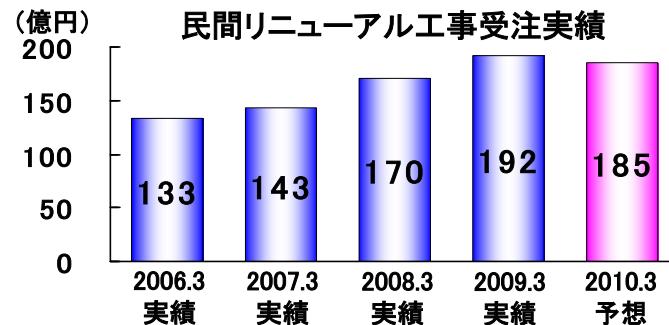
千葉市町村職員中央研修所

- ・自社ビルによる商品モデル
 - 実績データを収集・分析し提案営業に活用
 - 自社ビルへの導入を検討
NDK大宮ビルへCO₂削減対策を導入

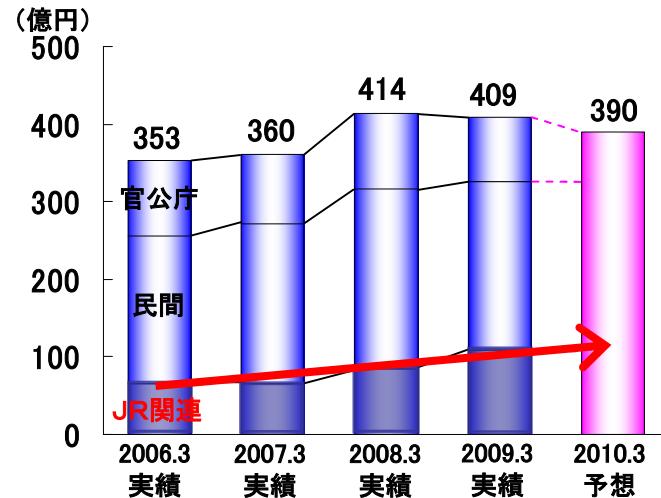
○組織的提案営業の推進

- ・JR東日本関連企業へ営業展開
- ・改正省エネ法施行に対応する企業へ営業展開

○民間リニューアル工事に 引き続き注力 ・設備診断を受注につなげる



○JR関連工事の受注実績



○駅および駅周辺工事

- ・ステーションネッサンスプロジェクトの受注拡大
施工実績

上野駅、品川駅、松本駅、立川駅、東京駅

今後受注を目指す物件

関東地区: 柏駅、吉祥寺駅、南浦和駅、川崎駅
東北地区: 仙台駅、郡山駅、盛岡駅

- ・各種プロジェクト

施工実績

(新築)エキュート立川、ホテルメッツ駒込、新潟駅南口ビル
仙台駅ビル、東神奈川駅ビル

(改修)川崎駅ビル

現在施工中の物件

(新築)大阪駅新北ビル、博多駅ビル



エキュート立川

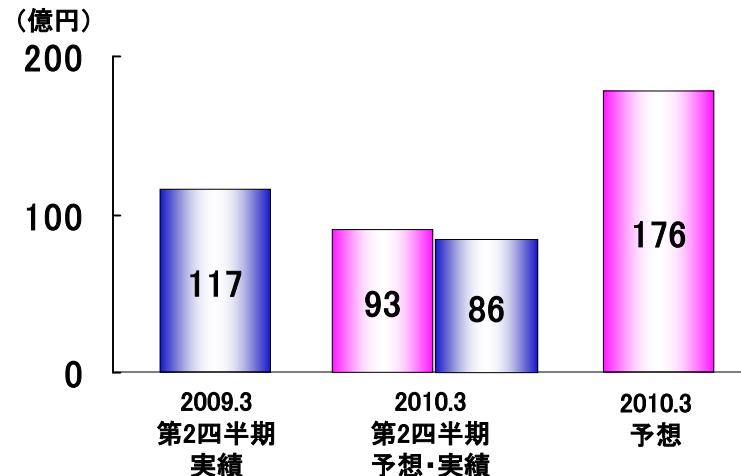


仙台駅ビル



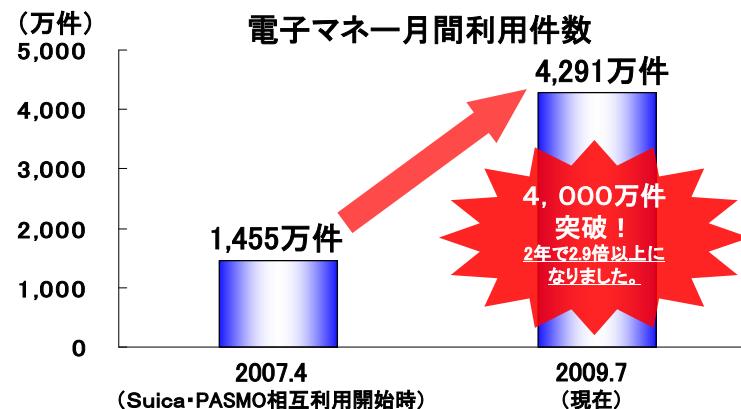
川崎駅ビル

○当部門の受注実績



○Suica等関連工事

- 受注実績 駅構内LAN設備更新、KIOSK等物販端末工事
- JR東日本エリア以外での営業推進



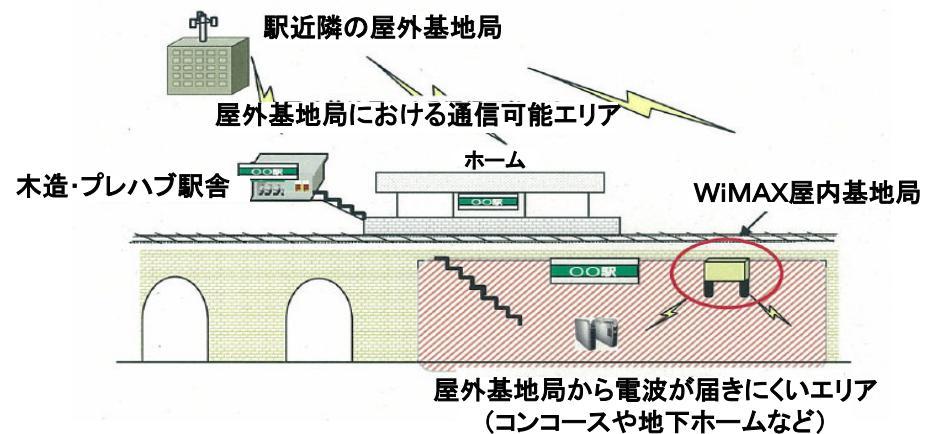
※Suicaは東日本旅客鉄道株、PASMOは株バスモの登録商標です。

2010. 3期第2四半期

○モバイルWiMAX(次世代高速無線通信)設置工事への営業推進

- 施工実績 成田空港駅及び成田空港第2ビル駅構内新設工事等
 - 高速モバイルインターネットサービス2009年7月1日開始
1dayサービス2009年10月1日から開始
 - 2010年3月期は首都圏、東北主要駅および街中(駅以外)での基地局設置工事への営業を推進
 - 2010年3月期に全国の政令指定都市にエリアを拡大予定
2013年3月期までに人口カバー率90%に向け順次拡大予定

駅構内におけるWiMAX屋内基地局設置概要



※モバイルWiMAXとは無線LANよりも広い範囲をカバーする次世代無線規格
通信可能範囲が最大3キロメートル程度と広く最大通信速度は毎秒75メガビット

○地上デジタル放送開始に伴う東北・上越新幹線テレビ受信障害対応

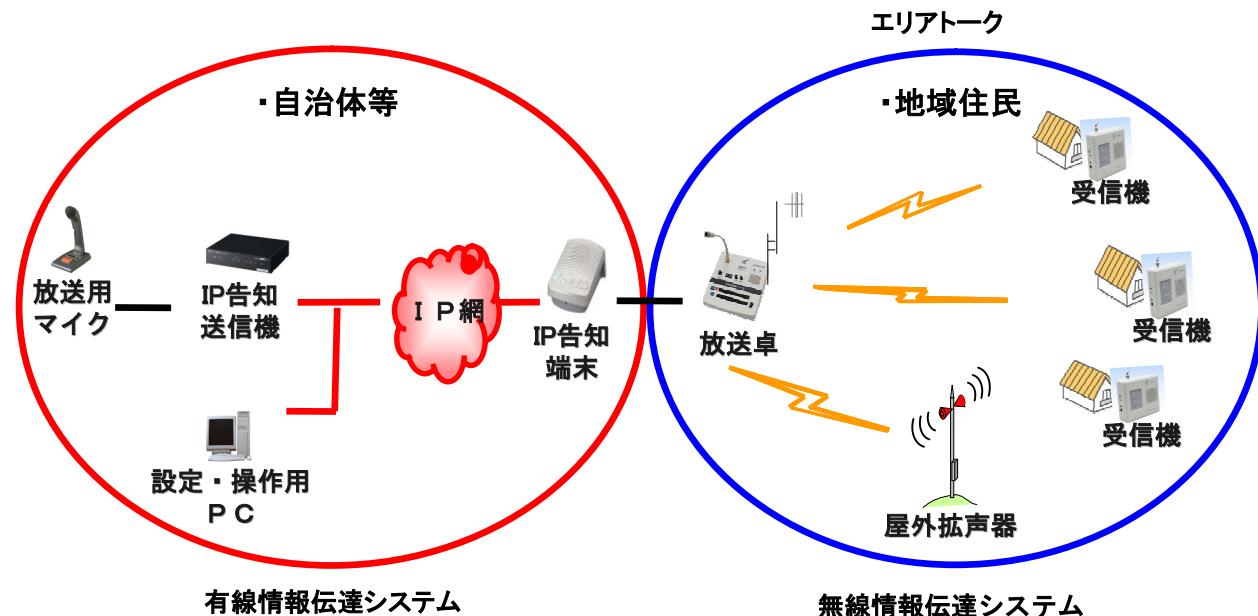
- ・既存電波障害対策施設の対応
 - 各家庭へ光ネットワーク(地デジ、通信サービス等)を構築中。旧設備の撤去工事を受注
- ・光ネットワーク不可地域は、地デジ対応のアンテナの取付工事を促進し2011年7月の完全デジタル化に向けて推進中
 - 八戸～青森間延伸に伴う電波対策工事に着手(349棟 503世帯)

○携帯電話不感地対策工事(在来線)

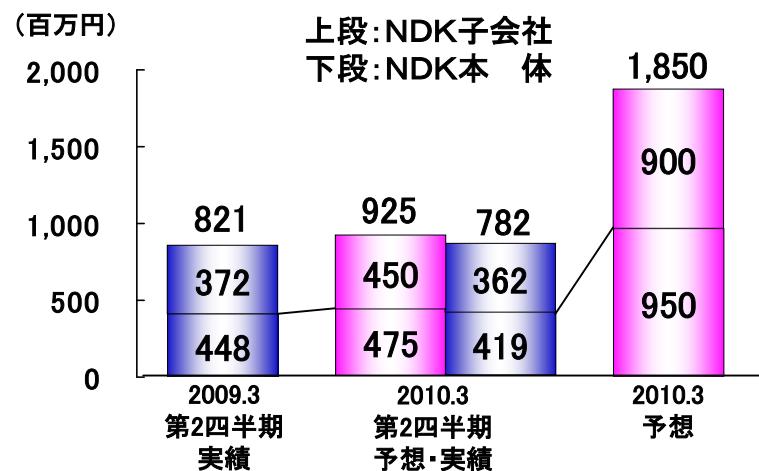
- ・各携帯事業者、JR東日本と連携した各対策工事等の推進
 - 在来線のトンネル等の電波中継設備(基地局)の工事受注に向けた営業推進
- ・今後導入予定 (総武線:東京～両国、横須賀線:東京～品川、中央線:高尾～相模湖)

○地域イントラネット 整備事業への営業推進

- ・受注実績 広島県呉市地域イントラネット
伝送路整備事業
 - 呉市一円の出先機関に光ケーブル
敷設
- ・今後、有線と無線を利用した防災、地域
情報伝達システムの自治体等への提案
営業の推進
 - 既存アナログ防災無線の老朽化に
伴う新たな情報伝達ツール



○当部門の売上実績・予想(連結) ○不動産による関連事業の拡大



○ビルサービス事業の拡大

・新規顧客の開拓

→ 台東区より地下駐車場の定期点検業務受託

・建築事業部門の受注拡大

→ マンション(5階建、3棟、92戸)修繕工事受注



上野中央通り地下駐車場

2010. 3期第2四半期

・社有資産の有効活用を積極的に推進

→ ロータスマンション(賃貸)の新規開発

・ロータス亀島(24戸)

(名古屋市中村区)

建設着手: 2009年3月

完成予定: 2010年2月

・ロータス越路(6戸)

(仙台市太白区)

建設着手: 2009年9月

完成予定: 2009年11月

・ロータス宇多津(18戸)

(香川県宇多津町)

建設着手: 2009年10月、完成予定: 2009年12月

上記の3箇所にワンルームマンション建設中

現在7棟143戸が10棟191戸へ拡大



ロータス亀島

→ 新自社ビル開発の際、一部に賃貸オフィス・賃貸

マンションを併設

・老朽化した自社ビルについて建設を検討

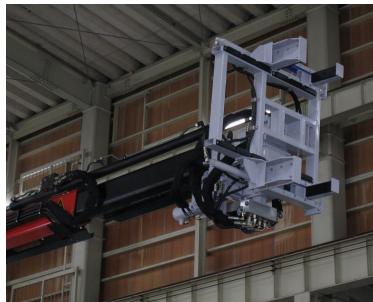
・2009年3月期に約1,200m³増床し、2009年9月末現在

7棟16,130m³に増加

○技術開発

・機械化施工の推進

- 重量物アシスト車両の更なる推進
STB(ばね式自動張力調整装置)把持用
アタッチメント開発中(2011年3月開発予定)



重量物をつかみ、上下・左右に動かせる把持部分



可動ブラケットを電車線柱に取付ける作業状況

・夜間作業時の騒音軽減

- き電線延線用ロープ巻取り装置
騒音源であるエンジンに替えて軌陸車の油圧を利用したモータでワインチを駆動させる方式



き電線延線用
ロープ巻取り装置本体



装置本体の軌陸車搭載状況

・携帯電話不感地対策システムの提案

鉄道利用のお客様等を対象に、メール、インターネットなどが利用できるようトンネル等に導入を提案



機子器収容箱



トンネル子局装置

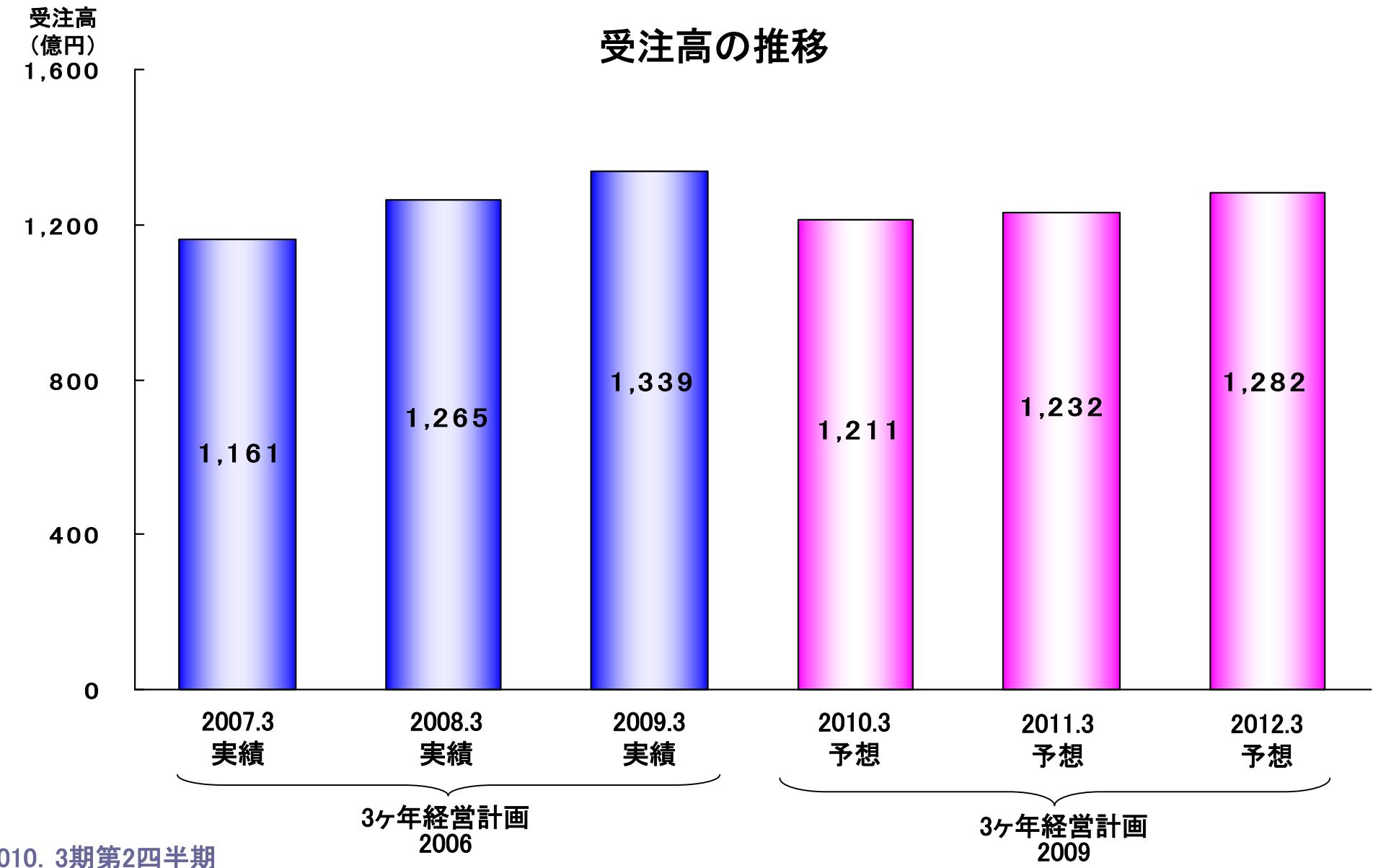


明かり子局装置

経営目標 2012年3月期 経常利益率 5.0%

(単位:億円)

事業年度	3ヶ年経営計画2006(実績)			3ヶ年経営計画2009(予想)		
	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期
受注高	1,161	1,265	1,339	1,211	1,232	1,282
売上高	1,124	1,223	1,238	1,231	1,301	1,256
営業利益	29	41	54	52	58	57
経常利益	35	46	61	57	63	62
経常利益率	3.1%	3.8%	4.9%	4.7%	4.9%	5.0%

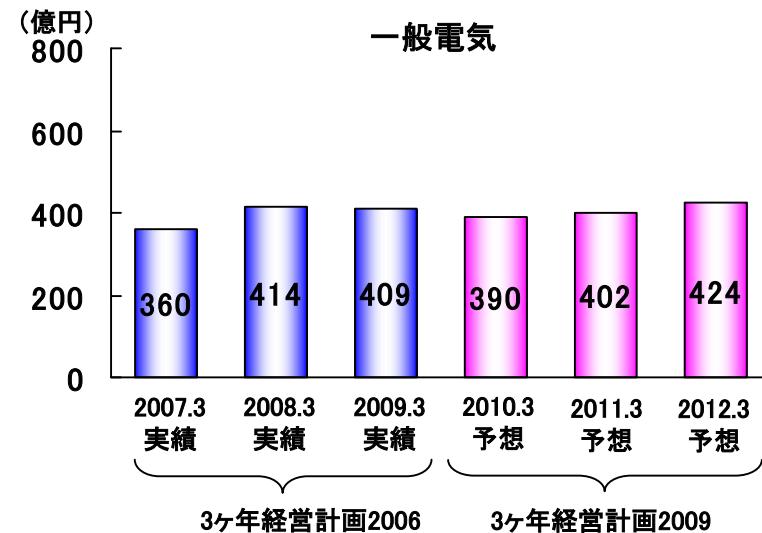
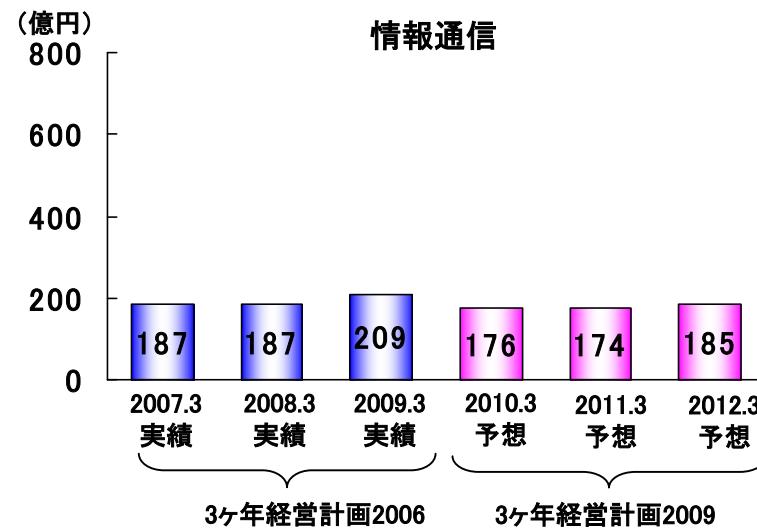
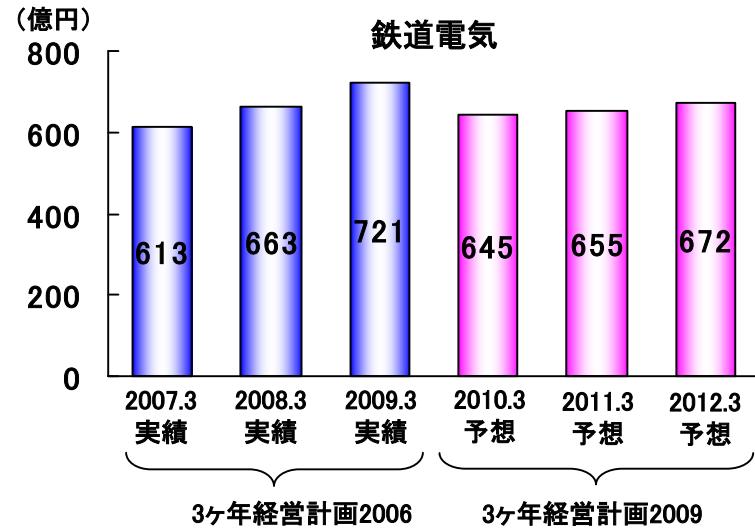


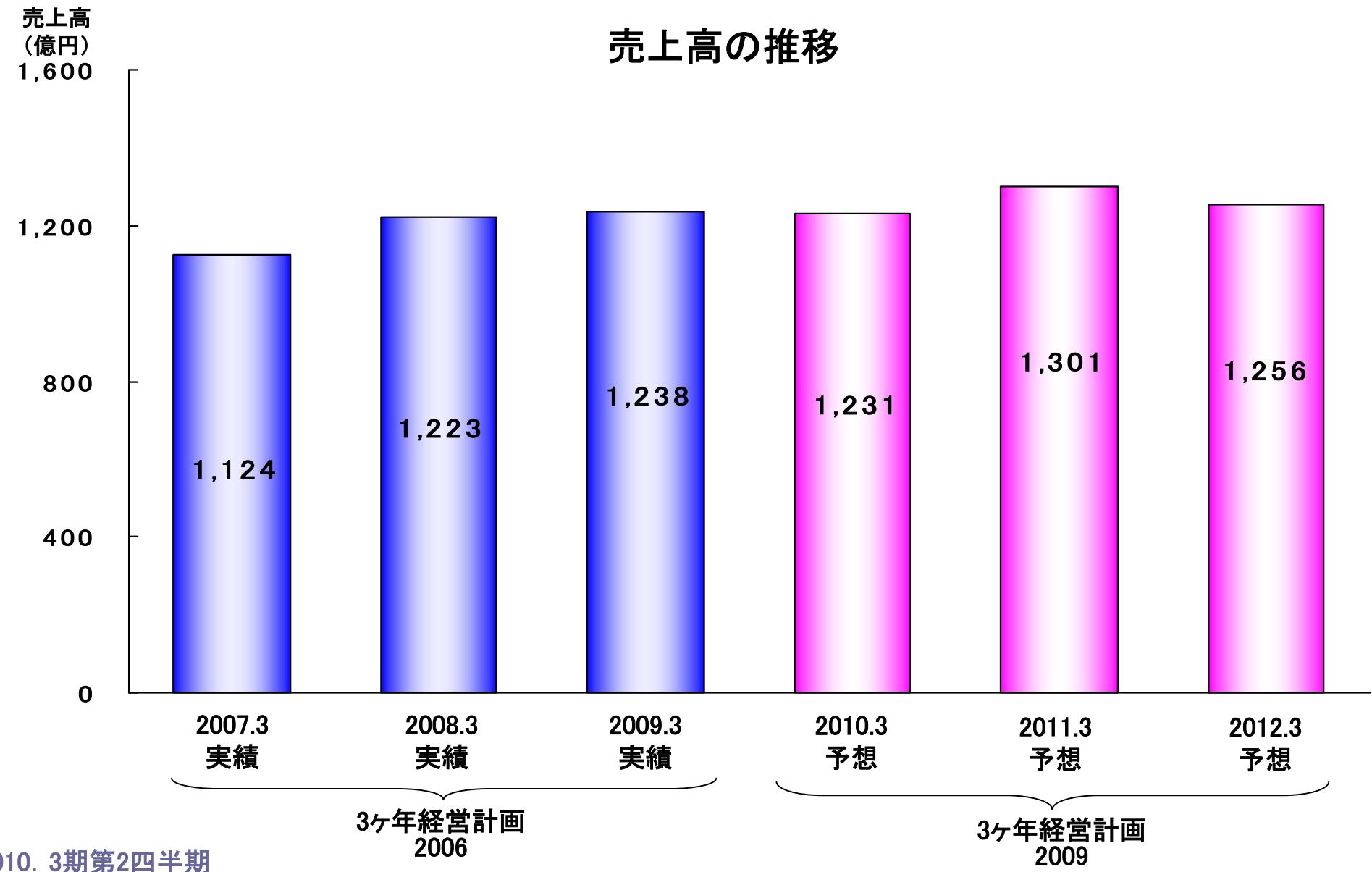
部門別受注高の推移

V. 日本電設3ヶ年経営計画2009



日本電設工業グループ
NDKグループ



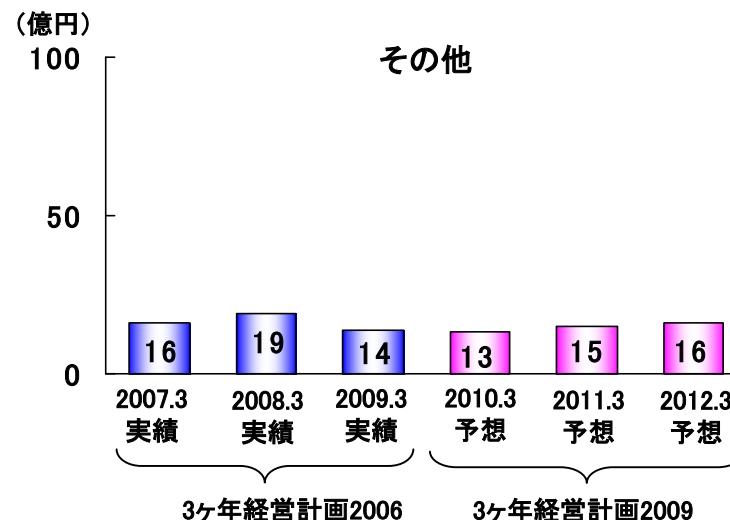
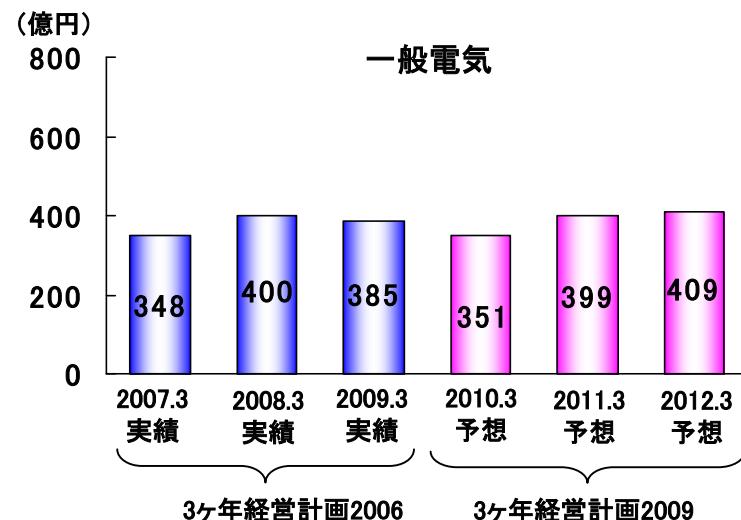
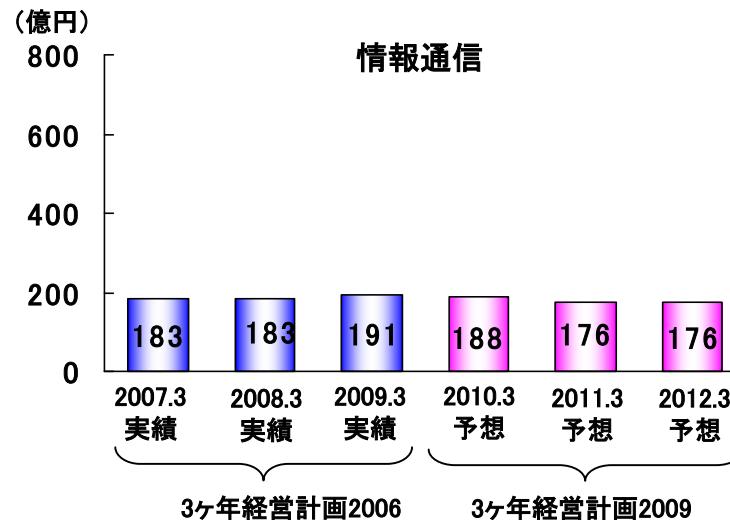
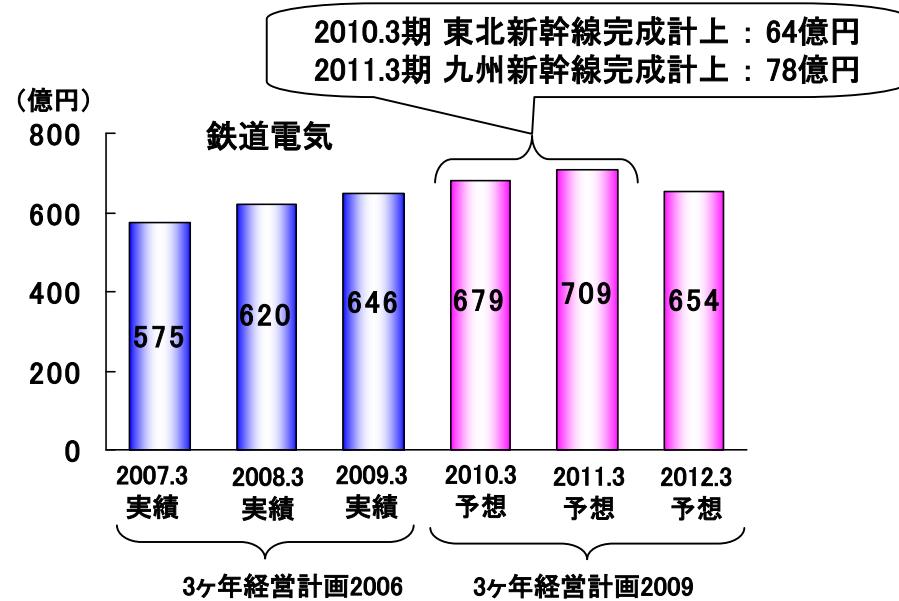


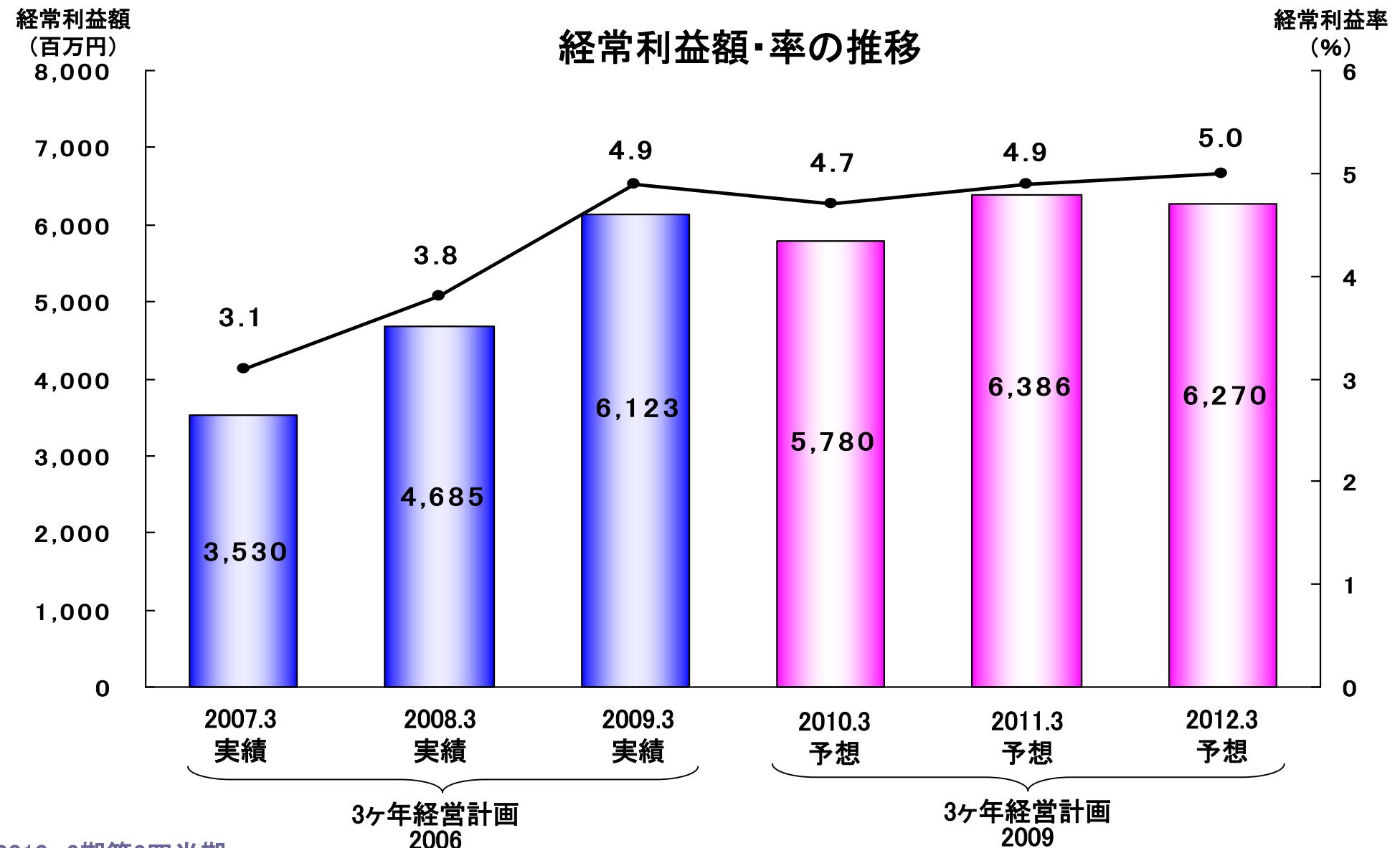
部門別売上高の推移

V. 日本電設3ヶ年経営計画2009



日本電設工業グループ





重点実施テーマ

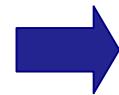
本物志向の実践

◎受注競争力の強化



- 全社的な要員機動運用による更なる施工体制の強化
- 全社的な顧客情報の管理・共有化による組織的営業の強化

◎恒常的利益体质への基盤強化



- 西日本地域の要員、原価、施工、業績の一元管理により効率性を追求した支店経営の実現

◎人材の確保と育成



- 全社的なリクルート推進体制の強化による人材の確保
- IT技術を徹底的に駆使した効果的な教育システムの構築による人材の育成

◎NDKグループの総合力向上



- NDKグループ内取引の活性化による収益力の拡大
- NDKグループの連携強化による技術、ノウハウ等の共有化